

2020年6月新着情報



海外／国際機関で行われている／行われた興味深いイベント／取り組み

- **【コロナ関連】国連: 2020年世界高齢者虐待啓発デー(WEAAD): COVID-19が高齢者への暴力・虐待・ネグレクトへ及ぼす影響・・・バーチャルイベント(6/16)**
 - <https://www.un.org/development/desa/ageing/uncategorized/2020/06/2020-world-elder-abuse-awareness-day-weaad-the-impact-of-covid-19-on-violence-abuse-and-neglect-of-older-persons/>
 - 国連総会は、6月15日を世界高齢者虐待啓発デー(WEAAD)と定めた。WHOの推計によると、60歳以上の6人に1人は虐待の犠牲となっている。これは世界で1億4,100万人に相当するが、報告されないケースも含めると、この数はさらに大きいと思われる。COVID-19によって、多くの高齢者虐待が浮き彫りとなり、この深刻な人権侵害問題への対応や予防が至急求められている。今年の国連啓発デーはバーチャルで開催され、イベント参加登録は以下のページより可能である。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ArmccdPbTGeuqfB2kdinyw
- **【コロナ関連】国際団体: 緩和ケアとCOVID-19に関するリソース集**
 - <http://globalpalliativecare.org/covid-19/?show=global-palliative-care-organizations-special-series-on-covid-19-and-palliative-care>
 - The International Association for Hospice and Palliative Care (IAHPC、国際ホスピス・緩和ケア協会)は、緩和ケアとCOVID-19に関連する学术界・市民社会団体・加盟国・国連専門機関の資料リストを作成した。上記リストに記載された資料にはすべてリンクが貼られている。また上記URLでは新たな情報を随時募集している。
- **各国 NGO 共同: 国連システムで高齢者の認識や包摂に向けた取り組みを強化するよう、複数のNGOが共同で国連事務総長に呼びかけ(6/3)**
 - <https://www.helpage.org/newsroom/latest-news/ngos-call-on-un-secretary-general-to-set-out-plan-to-strengthen-recognition-and-inclusion-of-older-people-within-un-system/>
 - 100を超える世界中の団体は共同で国連に対し、コロナパンデミックへの対応で「より良い復興(build back better)」を確実に行うよう呼びかけた。国連システム全体で高齢者の権利が確実に支持されるよう、不平等やエイジズム、差別へ対応する必要がある。この公開状は、COVID-19が高齢者にもたらす影響について5月初旬に発表された国連政策文書に対し、アントニオ・グテーレス国連事務総長宛てに送られたものである。公開状では事務総長の介入を歓迎したが、国連システムでの対応を要する高齢者関連の重要なギャップについて強調した。そして国連システム内で高齢者の包摂を強化する計画を設けるとともに、市民社会アクターと対話を行うよう呼び掛けた。この公開状の署名団体には、ILC アルゼンチンとカナダも含まれる。



ILC-Japan または ILC-GA メンバーが関わった／関わっている イベント／取り組み

- **【コロナ関連】英国: COVID-19 関連のウェビナーシリーズ(ILC-UK)**
 - <https://ilcuk.org.uk/events/>
 - ILC-UK では 4 月下旬からほぼ毎週、主に COVID-19 と高齢者に関するウェビナーを開催している。上記 URL から各ウェビナーのページに行くと、プログラムの動画が閲覧できる。主な内容は以下の通り。
 - ◇ 5/7: ケアホームおよびリタイアメントハウスとコロナウィルス: 現状と今後
 - ◇ 5/14: 公的医療および政策の改革: 公的年金受給開始年齢引き上げの影響緩和
 - ◇ 5/21: コロナパンデミックにおける脆弱な消費者の経済的ウェルビーイング支援
 - ◇ 5/28: コロナ後の世界に向けた仕事の未来計画
 - ◇ 6/4: 英国と米国におけるコロナウィルス
 - ◇ 6/11: 高齢化社会における医療システム: COVID-19 からの学び
- **【コロナ関連】ドイツ: Max-Planck Institute による COVID-19 関連の取り組み(4/22)**
 - <https://www.mpsoc.mpg.de/en/newsroom/news/detail/announce/forschung-des-instituts-zur-corona-krise/>
 - コロナパンデミックは、経済や社会へ長期にわたり大きな影響をもたらす。同機関の研究者たちは現在、いくつかの研究事業の中でこれらの影響を調査しており、その中でも Munich Center for the Economics of Aging (MEA)は以下の事業に取り組んでいる。
 - ◇ コロナ危機が年金に及ぼす影響
 - ◇ COVID-19 の社会・健康・経済面での影響(SHARE データ)



海外での興味深い取り組み・ニュース

- **【コロナ関連】国連: COVID-19 が高齢者にもたらす影響に関する国連事務総長の文書を 146 の加盟国が支持 (5/20)**
 - <https://www.un.org/development/desa/ageing/uncategorized/2020/05/140-member-states-support-the-sg-policy-brief-on-covid19-and-older-persons/>
 - <https://www.un.org/development/desa/ageing/wp-content/uploads/sites/24/2020/05/Statement-of-Support-to-SG-Policy-Brief-COVID19-OPs.pdf> (声明全文)
 - 5 月 1 日に国連事務総長が発表した**政策文書**への強い支持を、地域をまたいだ中核グループ(アルゼンチン、オーストラリア、カナダ等で構成)が主導し、この支援文書は 146 の加盟国が署名した。同声明は 2020 年 5 月 11 日に発表された。
- **【コロナ関連】世界各国(主に開発途上国): COVID-19 高齢者のストーリー**
 - <https://www.helpage.org/newsroom/covid19-older-peoples-stories/>

- HelpAge International では、世界中の高齢者やネットワークメンバーと協力し、COVID-19 への対応に取り組んでいる。上記 URL では、世界各国の高齢者や高齢者支援従事者が自らの COVID-19 の経験を語っている。(訳注:ILC-ND のコロナプロジェクト事例では、このページのオランダ語訳がいくつか掲載されています。)
- **欧州:就労期間の長期化傾向あり**
 - <https://ec.europa.eu/eurostat/web/products-eurostat-news/-/DDN-20200608-1?inheritRedirect=true&redirect=%2Feurostat%2Fnews%2Fwhats-new>
 - EU 加盟国では 2019 年、15 歳以上の人の平均見込み就労期間が 35.9 年であり、2000 年より 3.6 年、2018 年より 0.2 年長かった。同年では男性が 38.3 年、女性が 33.4 年と男性の方が長かったが、性差は 2000 年より縮小傾向にある。見込み就労期間が比較的長かったのはスウェーデン(42.0 年)、オランダ(41.0 年)、デンマーク(40.0 年)などであり、逆に短かったのはイタリア(32.0 年)、クロアチア(32.5 年)、ギリシャ(33.2 年)などだった。2000 年と比較して、見込み就労期間はルーマニアを除くすべての EU 加盟国で長期化していた。
- **【コロナ関連】英国: Covid-19 全国調査開始: 社会サービスの閉鎖が高齢者・認知症の人・無償ケアラーへ及ぼす影響について(4/27)**
 - <https://www.lancaster.ac.uk/news/covid-19-national-study-launched-into-the-effects-of-social-service-closures-on-older-people-people-with-dementia-and-unpaid-carers>
 - <https://www.news-medical.net/news/20200427/National-study-looks-at-the-impact-of-Covid-19-on-older-people-unpaid-carers-and-people-with-dementia.aspx>
 - <https://www.liverpool.ac.uk/coronavirus/research-and-analysis/dementia/> (調査 HP)
 - コロナウィルスで社会サービスが閉鎖されたことにより、高齢者・認知症の人・無償ケアラーのウェルビーイングへもたらされた影響について、全国調査が立ち上がった。この調査は、NHS や全国のボランティアおよび学術部門(ランカスター大学、リバプール大学など)の専門家によるチームが実施する。高齢者や認知症の人の多くは、サポートグループや地域の社会活動、ピフレンドサービス、デイケアなど、医療サービスでは提供できない支援へ大いに依存している。しかしコロナウィルスによって、これらの対面サービスは一時的に閉鎖され、支援やケアニーズで大きな穴が開いてしまった。そこでこの調査では当事者の声を聞き、その声を意思決定者に届けることを目指している。調査はオンラインまたは電話で行い、各回 20-30 分間のインタビューを 12 週にわたって 3 度実施予定である。参加者登録締め切りは 2020 年 7 月 31 日。
- **【コロナ関連】英国: コロナウィルスのロックダウンで新たなテクノロジーを採り入れる高齢者が増加 (5/5)**
 - <https://www.express.co.uk/news/uk/1277894/coronavirus-oap-silver-surfer-technology-zoom-skype-google-hangouts>
 - ロックダウンによって英国人は、家族や友人と定期的に連絡を取ることが多くなっている。高齢者も現代のテクノロジーを採り入れ、その結果、周りと連絡が取りやすくなっている。ロックダウン中に若者の半数近く(45%)が、祖父母や他の高齢親族へ、「GrandPad」(※)や他の機器、スマートフォン、パソコンを紹介していた。また多くの若者は、Zoom や WhatsApp、

FaceTime などソーシャルネットワークの利用方法も高齢家族に教えていた。高齢者の 75% は、これらのテクノロジーが孤立感の軽減に役立ったと答えている。ロックダウン開始後、6 人に 1 人は友人や家族とオンラインクイズを楽しみ、また 21%は誕生日など家族の祝い事へオンラインで参加した。Home Instead の新たな調査では、高齢家族との連絡が前年より増えたと述べた人は 70%にのぼり、このような新たなテクノロジースキルのメリットが示唆される。

(※)GrandPad のサイト

<https://www.grandpad.net/>

- **【コロナ関連】英国:ロックダウンが高齢者に及ぼす影響の調査開始(5/11)**

- <https://www.imperial.ac.uk/news/197475/study-launched-investigate-impact-lockdown-older/>
- Imperial College London が行う CHARIOT COVID-19 Rapid Response (CCRR) 調査では、コロナウイルスへ既にかかった高齢参加者の数を推計するとともに、エビデミックやロックダウン対策が心身のウェルビーイングへもたらす影響についても測定することを目指している。調査では、様々なライフスタイル、医療、社会および精神面での要因が、人々の脆弱性やレジリエンスへどのように影響を及ぼすのか調査する。この調査ではまず、同校が所有する Chariot Register の登録者 4 万人へ参加を呼びかける。ここに登録した人たちは 50 歳以上であり、1 年間にわたって自分の症状について週に 1 度回答するほか、身体活動・睡眠・気分・日常活動に関する追加質問へ 6 週間ごとに回答している。

- **【コロナ関連】英国:エイジフレンドリー・コミュニティと COVID-19**

- <https://www.ageing-better.org.uk/age-friendly-communities-and-covid-19>
- Centre for Ageing Better は上記の URL で、エイジフレンドリー・コミュニティがどのように COVID-19 へ対応しているか、いくつか事例を紹介している。事例はエイジフレンドリー・コミュニティにおける 8 つの領域(例:コミュニケーションと情報、コミュニティと保健サービス、尊厳と社会的包摂、社会参加、交通など)に分類して紹介されている。

- **【コロナ関連】英国:コロナ禍でのバーチャルコーヒーモーニング**

- <https://www.ageing-better.org.uk/case-studies/how-leeds-utilising-virtual-coffee-mornings-covid-pandemic>
- イングランド北部の都市リーズでは、COVID-19 でのロックダウンによって、エイジフレンドリーの様々な活動拠点である地域ネットワークを閉鎖しなければならなくなった。しかし同ネットワークのスタッフやボランティアは、画期的な方法でメンバー支援に取り組んでいる。たとえば Cross Gates ではシティカウンスルの支援を得て、いくつかのサービスや活動をオンラインに移し、そこでは Zoom を活用することにした。しかし参加希望者の大半はビデオ通話を利用したことがなく、研修ニーズが発生した。そこでスタッフたちは、予約制で電話による遠隔での Zoom 設定や利用支援を行った。そして 3 月 25 日、バーチャルでのコーヒーモーニング・セッションが行われ、そこから活動や参加者が増えていった。バーチャルでの活動は、クイズ、後援、コーヒーやおしゃべり、健康やウェルビーイング、IT クラス、合唱クラブ、死別者支援グループなどに広がっている。Cross Gates では現在、オンラインで参加したくても機器

がない人への貸し出しを行えるよう取り組んでいる。この取り組みはロックダウンの結果として始まったものであるが、センターに来られない人たちとの対応で、より大きな可能性を秘めている。

- **【コロナ関連】英国: ボランティアによる電話での新たなチェアエクササイズ支援**
 - <https://www.ageuk.org.uk/discover/2020/06/volunteers-delivering-exercises-coronavirus/>
 - コロナパンデミックの中で Age UK Wandsworth は、緊急食料配達サービスや電話でのビフレンドリングサービスなど、様々なサービスを行っている。しかしパンデミックの影響が長期化する中で高齢者は外に出られず、アクティブな生活が実践しにくくなっている。オンラインでは、運動ビデオも含めて様々なリソースがあるものの、様々な理由でネットを利用しない高齢者が多数存在する。そこで同団体では Active Chats というプロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトでは、訓練を受けたボランティアが定期的に高齢者へ電話をかけ、チェアエクササイズを行う。資格を持ったパーソナルトレーナーがこの運動をデザインし、ボランティアたちは皆、プログラムや会話の訓練を受ける。転倒リスクを避けるため運動はすべて座位で行い、主な関節や筋肉をすべて動かすことに重点を置いている。このプロジェクトではまた、テレビやラジオ、オンラインでの他の資源も紹介するほか、アクティブな日常生活を送れるヒントも提案している。

- **【コロナ関連】英国: NHS ボランティアの支援対象が医療と社会的ケアスタッフに拡大 (6/6)**
 - <https://www.gov.uk/government/news/nhs-volunteers-extend-support-to-frontline-health-and-social-care-staff>
 - 6月8日より、NHS ボランティアサービスが医療および社会的ケアスタッフにも拡大される。これまで 28.5 万のボランティア業務が行われ、買い物の配達などを支援してきたが、同様の支援を上記のスタッフにも行っていく。このパンデミックに対する国の対応は次の段階に移っているが、医療や社会的ケアスタッフは引き続き重要な役割を担っている。ボランティアサービスを拡大することで、これらのスタッフは業務に集中し、また店舗などにおける他者との接触を抑えることができるようになる。

- **【コロナ関連】英国: COVID-19 テストをイングランドの高齢者／認知症ケアホームすべてに提供 (6/7)**
 - <https://www.gov.uk/government/news/covid-19-tests-offered-to-every-care-home-for-elderly-or-those-with-dementia>
 - イングランドでは、すべての高齢者／認知症ケアホームへテストキットが提供され、6月6日までの提供完了という目標を達成した。ケアホーム全体のテスト開始以降、政府は 9,000 か所近いケアホームへ 100 万以上のキットを提供した。このキットは、コロナの症状に関わらず提供された。

- **【コロナ関連】英国: 社会的ケア提供者による COVID-19 への対応実践例紹介(CQC ウェブサイト 特別ページ)**
 - <https://www.cqc.org.uk/news/stories/innovation-inspiration-how-providers-are-responding-coronavirus-covid-19>

- <https://www.cqc.org.uk/publications/innovation-inspiration-examples-how-providers-are-responding-coronavirus-covid-19>(事例集)
 - 医療や社会的ケアの提供者たちは、コロナウィルスへの対応で大きな課題に直面しているが、この短期間に新しい取り組みや働き方を開発してきた。CQC(ケアの質委員会)が提供者に、コロナへの対応でどのような変更を行ったかについて尋ねたところ、多くの回答が寄せられた。上記 URL ではサービスの種類ごとに実践例が分類されており、成人向け社会的ケア(Adult social care)も一つのセクションとして様々な事例が紹介されている。情報は随時更新予定。
- **【コロナ関連】フランス:コロナパンデミックにおける自宅隔離が在宅高齢者の身体活動に及ぼす影響:質的インタビュー調査**
 - <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7207013/>
 - 高齢者はコロナウィルス感染や重症化のリスクが高いため、自宅に留まる必要がある一方で、運動不足も避ける必要がある。身体活動は高齢者にとって、特に自立度・メンタルヘルス・ウェルビーイングを維持するために重要である。この調査では、今回の隔離期間が身体活動プログラムおよび高齢者の心身の健康へ及ぼす影響を評価するとともに、身体活動プログラムに代わって運動不足を予防するための案を見出すことを目指した。調査では、専門職(フランスで身体活動プログラムを運営する管理者やトレーナー)やプログラムに参加する高齢者を対象に、半構造化インタビューを行った。インタビューの結果、コロナウィルスによって身体活動プログラムへの参加者が減少しており、その理由として「他の人との接触を避けたい」「機器に触ることへの抵抗」などが挙げられた。その一方で高齢者たちは、自宅で身体活動を続ける必要性を述べていた。高齢者が自宅で身体活動を続けることの重要性を伝えるとともに、自宅の限られたスペースでできる簡単な運動ができるような支援の必要性が示唆された。上記ページからは、インタビューガイドも閲覧可。
 - **【コロナ関連】米国:COVID-19 と高齢者雇用の展望**
 - <https://www.seniorliving.org/research/senior-employment-outlook-covid/>
 - 米国の労働力調査では、COVID-19 による影響が、他の年齢層よりも 55 歳以上の方が大きいことが示された。この年齢層の失業率は、2020 年 2 月は 2.6%だったが、4 月には 13.6%へと急増している。今後経済活動が再開したとしても、高齢者は(1)リモートワークが難しい仕事に就いていることや、(2)ソーシャルディスタンスが保ちにくい仕事に戻らないよう保健当局から奨励される可能性があることから、雇用面での長期的影響が他の年齢層より大きいと見込まれる。この報告書では、高齢者の多くが従事している仕事について検討するほか、高齢者の就業率推移、COVID-19 で見込まれる影響を分析するほか、州ごとの比較も行っている。主な結果は以下の通り。
 - ◇ 50 州すべてとワシントン DC では、65-74 歳の人の 20%以上が働いており、7 州では 30%を超えている。
 - ◇ 2013 年以降、46 州では 75 歳以上の就業が増えている。
 - ◇ 高齢者の多くは、他者との密な接触を伴う様々な仕事に就いている(例:バス運転手、タクシー運転手、露店商人、改札係、歯科医、理容師等)。
 - ◇ リーマンショック後の大不況の後、失業者が就職できるまでの期間は、51-60 歳で平

均 9 か月だったが、比較的若い年齢層は 6 か月だった。

- **【コロナ関連】米国:防護具(PPE)や検査不足の中、障害者や高齢者が在宅ケアを受けられず(5/3)**
 - <https://www.politico.com/news/2020/05/03/home-care-coronavirus-229723>
 - 十分な検査やPPEを確保するために病院やナーシングホームが苦勞している一方、在宅ケアはそれよりはるかに劣悪な状況となっている。高齢者や障害者の中には、感染を恐れてケアを断ったり、あるいは担当職員が訪問を拒否することで、サービスを受けていない人たちもいる。また在宅ケア部門は、トランプ政権が最近行った、医療業界への器具や検査増強への取り組みから除外されている。今回の危機によって、パンデミックが始まる以前から問題となっていた在宅ケアの供給不足がさらに悪化している。COVID-19の患者であふれかえる病院や現在危険なナーシングホームを避けたい家族は、在宅ケアで長い待機リストに直面するのである。
- **【コロナ関連】米国:COVID-19によってエイジングの表現方法が悪化していくか?(5/8)**
 - <https://www.forbes.com/sites/nextavenue/2020/05/08/will-covid-19-make-the-decline-narrative-of-aging-worse/#7e124d652cbe>
 - エイジングを表現する言葉には、COVID-19パンデミック以前からエイジズムやネガティブな意味合い(劣化、依存など)が含まれていた。しかしパンデミック以降、ソーシャルメディアやケーブルテレビ、また政府や医療専門職などの医療ガイドラインを見ても、その傾向がさらに強まっている。老年学者のマーティン・ハイド氏はこのようなバッシングを「Gerontocidal language(高齢者殺しの言葉)」と呼んでいる。また多くの専門家たちは、このパンデミックによって高齢者が単一的なグループ「ハイリスクの弱者」として扱われていることを指摘する。
- **【コロナ関連】米国:ホスピスケアは続く—ただし接触なしで(5/8)**
 - https://www.pewtrusts.org/en/research-and-analysis/blogs/stateline/2020/05/11/hospice-care-continues-without-the-human-touch?utm_campaign=2020-5-11+SD&utm_medium=email&utm_source=Pew
 - 人々が穏やかに最期を迎えられるよう支援を行うホスピスでも、COVID-19の影響が想像もつかない形で及んでいる。このパンデミックによって、感染への不安やリスクから、死にゆく人へ安らぎをもたらすケアが提供しにくくなっているのである。たとえばタッチングである。肌の触れ合いはホスピス業務にとって非常に重要だが、現在はそれができない。在宅ホスピスの職員もまた、患者宅への訪問を減らしたり短縮したり、あるいはバーチャルでの訪問に変えたりしている。終末期の患者自身がCOVID-19に罹患していないと考えられる場合であっても、サービス提供者がウィルスを持ち込むのではないかという患者や家族の不安などを踏まえ、多くのホスピスでは上記と同様の対応を行っている。入院の場合も、大半のホスピスでは家族の訪問を大幅に制限している。多くのホスピス職員は、ナーシングホームでもサービスを行っているが、施設内の高い感染率によって訪問が出来なくなっている。また大半のホスピスでは家族へのサービスを、対面ではなく電話で行っている。
- **【コロナ関連】米国:COVID-19と高齢者に関する調査結果(5/12)**

- <https://umdearborn.edu/news/all-news/articles/covid-19-and-older-adults-research-findings>
- ミシガン大学では 3 月後半より、全国で 1,500 名以上の高齢者からパンデミックの様々な影響について声を聞いた。現段階で以下のような結果が示されており、より詳細な分析は現在進行中である。
 - ◇ 楽しみや安らぎの源について、回答者は多くの場合、家族やペットを挙げていた。しかし時間の経過とともに、配偶者や信仰、趣味の重要性が増していった。
 - ◇ 困難やストレスについて、時間の経過とともに見方が変わっていた。3 月の時点で多くの人々は、ストレスは「なにもない」と答えていたが、4 月中旬にはそのような回答は見られなかった。パンデミックが長引く中で、家族と会えないこと、ソーシャルディスタンスの実施、そしてトランプ大統領に関する懸念が高まっていた。
 - ◇ パンデミックの間でも前向きな感情を持てる関連要因として、社会支援、結婚／パートナー、ペット、高収入、加齢に対する前向きな視点などが挙げられた。
- **【コロナ関連】米国: ナーシングホームでのコロナ死者は 2.6 万人近く (6/2)**
 - <https://apnews.com/88c5e40b4ad12dd37843aee1b25f08e0>
 - 6 月 1 日付の政府報告によると、ナーシングホームではコロナによる死者が 2.6 万近くにのぼっていた。ただし、報告があったのは全体の約 80%に過ぎないため、上記の数字を更に上回することは確実である。また連邦政府のデータにはアシステッドリビングは含まれていない。コロナウイルスが虚弱な入居者の間で急速に拡大する中、ナーシングホームでの感染は 6 万を超えている。またナーシングホーム職員も 34,400 人以上がコロナに感染し、450 人近くが死亡している。
- **【コロナ関連】米国: Nursing Home Compare サイトで、ナーシングホームの COVID-19 データおよび検査結果が閲覧可能に(6/4)**
 - <https://www.cms.gov/newsroom/press-releases/nursing-home-covid-19-data-and-inspections-results-available-nursing-home-compare>
 - Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS)では 6 月 4 日より、ナーシングホームの COVID-19 関連データが閲覧できるようになった。2020 年 4 月 19 日に CMS はナーシングホームに対し、施設で起きた COVID-19 について入居者やその家族・代表へ知らせるよう義務付けた。これに加えてナーシングホームは、COVID-19 の感染や死者について疾病予防管理センター(CDC)へ直接報告することも義務付けられている。これらの情報が、この度閲覧可能となった。
- **【コロナ関連】カナダ: COVID-19 が高齢者のメンタルヘルスに及ぼす影響の調査 (5/20)**
 - <https://www.concordia.ca/news/stories/2020/05/20/covid-19-is-putting-older-adults-mental-health-under-additional-stress-says-concordia-researcher.html>
 - コンコルディア大学心理学部の研究チームでは、COVID-19 によるロックダウンが高齢者のメンタルヘルスや生活行動などに及ぼす影響を調査している。対象はケベック在住の高齢者約 1,000 人で、電話インタビューを行っている。

- **【コロナ関連】オーストラリア：COVID-19 の経験に関する高齢者調査の実施**
 - <https://www.gcma.net.au/covid19/research>
 - Global Center for Modern Ageing (GCMA) では、前代未聞のコロナパンデミックにおける経験について、高齢者から声を聞く研究を実施している。内容はたとえば、自分にとって上手いことや上手いかなかったことなどである。この調査は複数の段階に分けて行われ、ビジネスや政府に役立つ情報の収集や提供を目指している。第1段階の調査は3月31日から4月14日まで行われ、報告書も発表された([Finding a Silver Lining\(※\)](#))…訳注:ダウンロードするには登録(無料)が必要ですが、ご入用であればこちらでダウンロードしましたので、おっしゃってください。第2段階は5月18-31日、第3段階は7月13-26日に実施される。
(※) [Finding a Silver Lining のサイト](#)
<https://www.gcma.net.au/new-blog/2020/2/7/ageing-in-the-right-place-an-australian-perspective-dkcw8>

- **【コロナ関連】オーストラリア：無償ケアラーと COVID-19 の課題：ストーリーを共有して高齢者団体への年会費を免除に(5/18)**
 - <https://nationalseniors.com.au/news/media-release/unpaid-carers-and-covid-19-challenges>
 - オーストラリアの全国的な高齢者団体 National Seniors Australia では無償ケアラーに対し、パンデミックにおける自らの経験をシェアするよう上記 URL で呼び掛けている。経験をシェアした人は、同団体の年会費(45ドル相当)が無料となる。参加希望者は、上記 URL から氏名・メールアドレス・電話番号・居住地域・パンデミックにおける無償ケアラーとしての経験談を入力できる。

- **【コロナ関連】オーストラリア：Global Centre for Modern Ageing が高齢者向け COVID-19 ポータルを立ち上げ (5/27)**
 - <https://www.agedcareguide.com.au/talking-aged-care/global-centre-for-modern-ageing-launch-online-covid-19-portal-for-older-people>
 - <https://www.gcma.net.au/about-portal> (ポータルの HP)
 - コロナ禍で高齢者をさらに支援するため、Global Centre for Modern Ageing (GCMA)はオンラインの情報ポータル「Modern Ageing Portal(モダンエイジング・ポータル)」を立ち上げた。ここではコロナ関連情報のほか、健康や社会的つながり、アクティブな生活に向けて役立つ情報やリンクを掲載している。このサイトでは、できるだけ分かりやすい表現での情報提供のほか、コロナウィルスに関して信頼でき正しい情報をワンストップで入手できるページ作りを目指している。

- **【コロナ関連】オーストラリア：コロナ禍で孤立した高齢者を「郵便箱プロジェクト」がつなぐ (6/8)**
 - <https://www.cota.org.au/news-items/media-release-the-letterbox-project-brings-connection-to-older-australians-still-in-isolation-during-covid-19/>
 - コロナ禍で孤独や孤立に直面する多くの高齢者へ、有意義なつながりをもたらすため、新たな手紙プロジェクトの準備が進められている。コロナパンデミックでは多くの高齢者が、通常の社会的ネットワークから絶たれている。そこでこのプロジェクトでは、このような困難な時でも小さな喜びを届けるため、家族や学校のグループなど 3,000 を超える人たちが高齢者に

手紙を書く。上記の URL では、手紙の受け取りを希望する高齢者の紹介(家族、友人、近隣者など)を募集している。



海外／国際機関で最近発表された法律・規則・提言など

- **【コロナ関連】英国:コロナウィルス感染対応として新たに 6 億ポンドがケアホーム支援に(5/15)**
 - <https://www.gov.uk/government/news/care-home-support-package-backed-by-600-million-to-help-reduce-coronavirus-infections>
 - <https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-support-for-care-homes>
 - 6 億ポンドの新たな感染管理資金が投入され、ケアホームにおけるコロナウィルス感染拡大対応に使われる。これは、ケアホーム入居者や職員へのより広範な支援の一環として行われ、給与や PPE 研修などに使われる。
- **【コロナ関連】英国:新たな業界との契約で NHS をケアワーカーへ 7000 万枚のマスクを提供(5/15)**
 - <https://www.gov.uk/government/news/70-million-face-masks-for-nhs-and-care-workers-through-new-industry-deal>
 - 世界的なテクノロジー企業 Honeywell との契約により、英国で 7000 万枚以上のマスクが製造され、医療やケアの現場職員へ配られる。これはまた、国内での PPE 製造能力強化の可能性を発揮する計画の一環でもある。生産ラインでは、月に 450 万枚のマスク製造能力があり、製造現場では 450 人分の雇用が新たに創出される。
- **【コロナ関連】オーストラリア:高齢者ケア施設の訪問規範が確定(5/12)**
 - <https://www.agedcareguide.com.au/talking-aged-care/visitor-access-code-for-aged-care-homes-been-finalised>
 - <https://www.cota.org.au/news-items/media-release-industry-code-for-visiting-aged-care-homes-released/>
 - <https://www.cota.org.au/wp-content/uploads/2020/05/Industry-Code-RACH-Visits-during-COVID-10-FINAL-as-at-11-May-2020.pdf> (規範全文)
 - 「The Industry Code for Visiting Residential Aged Care Homes during COVID-19(COVID-19 における高齢者ケア施設訪問の業界規範)」が公式に確定し、5 月 11 日に発表された。これは、消費者や高齢者ケア提供者との 1 週間にわたる公開協議を経て確定したものである。この規範により、高齢者ケア施設への訪問が可能となるが、感染リスクを最小限に抑えるため施設の感染管理手順に従う必要がある。規範は 13 の原則から成り、様々な訪問形態の提供や感染管理方法などが示されている。同規範は 5 月後半に見直され、問題があれば修正していく。
- **【コロナ関連】オーストラリア:コロナ禍で施設入所高齢者の長期外泊が可能に(5/15)**

- <https://www.agedcareguide.com.au/talking-aged-care/emergency-leave-available-for-aged-care-residents>
- <https://www.health.gov.au/ministers/senator-the-hon-richard-colbeck/media/new-emergency-leave-provision-for-aged-care-residents>
- COVID-19 のような危機下で、高齢者ケア施設の入居者が罰則なしで長期外泊できるよう、政府は新たな緊急法改正を採択した。現行法では、施設入居者が入院以外の社会的目的で外泊できるのは年間 52 日までとなっており、これを超えると政府は施設への補助金を提供しなくなり、通常はその分の費用が入居者に課される。今回の法改正により、4月1日以降に長期外泊した入居者にはこの規則が適用されず、52 日を過ぎても政府は補助金の支払いを継続する。



海外／国際機関で最近発表された／近日発表される 報告書・ガイドブックなど

- **【コロナ関連】国連: COVID-19 and Older Persons: A Defining Moment for an Informed, Inclusive and Targeted Response (COVID-19 と高齢者: 情報に基づき包摂的・的を絞った対応に向けた決定的瞬間) (5/8. 国連の政策文書)**
 - <https://www.un.org/development/desa/ageing/news/2020/05/covid19/>
 - https://www.un.org/development/desa/ageing/wp-content/uploads/sites/24/2020/05/PB_6_8.pdf (全文)
 - 高齢者や持病のある人は、COVID-19 による重症化や死亡のリスクが高い。COVID-19 パンデミックの中で高齢者が経験する様々な形の差別が激化し、高齢者はさらに弱い立場に立たされている。医療でのトリアージの Protokol や方針は、臨床評価、医療ニーズ、倫理的基準および最良の科学的エビデンスに基づくべきである。
- **【コロナ関連】国連: 最新の COVID-19 世界人道対応計画で高齢者が優先グループに (5/8)**
 - <https://www.un.org/development/desa/ageing/news/2020/05/ghrp/>
 - https://www.un.org/development/desa/ageing/wp-content/uploads/sites/24/2020/05/GHRP-COVID19_May_Update.pdf (対応計画全文)
 - 国連人道問題調整事務所(OCHA)が作成した COVID-19 Global Humanitarian Response Plan (COVID-19 世界人道対応計画)では、高齢者を含む最も弱い立場の人々のニーズが優先されている。パンデミックによって、これまでの差別や不平等が既に悪化していることを踏まえ、この計画では、これらのグループの脆弱性に対応するための具体的な基準が含まれている。高齢者は COVID-19 で、重症化や死亡、障害、医療の場を含む差別など、様々なリスクに直面している。COVID-19 をめぐる議論では、COVID-19 が高齢者の病気としてとらえられ、その結果、高齢者が弱く依存した存在としてレッテルを貼られる危険性があり、また高齢者の孤立や差別につながりかねない。このような状況によって、パンデミック終了後も、社会中に根深く存在するエイジズムが浮き彫りとなったり激化する恐れがある。
- **【コロナ関連】世界各国: Age Demands Action COVID-19 toolkit (COVID-19 の対応で高齢者の声**

が反映されるための活動ツールキット)

- <https://www.helpage.org/resources/publications/> よりダウンロード可能
- HelpAge International ではこの 10 年以上、高齢者の権利を守る世界的な活動 Age Demands Action を行っている。この度 COVID-19 への対応で高齢者の権利が守られるよう、活動のツールキットを作成した。このキットでは、エイジズムをどのように認識するか、そしてソーシャルディスタンスを保ちながらどのようにしてこの活動を進められるか、などについて役立つ情報を提供している。

● 欧州:国の社会統計で施設入所高齢者を組み込むための新たな手引を UNECE が発表(5/6)

- <http://www.unece.org/info/media/presscurrent-press-h/population/2020/unece-publishes-new-guidance-for-inclusion-of-older-people-living-in-institutions-in-national-social-statistics/doc.html>
- <http://www.unece.org/statistics/publications/general/statistics/2020/recommendations-for-measuring-older-population-in-institutions/recommendations-for-measuring-older-population-in-institutions.html>
- <http://www.unece.org/fileadmin/DAM/stats/publications/2020/ECECESSTAT20202.pdf> (全文)
- 社会や人口に関する統計は通常、一般世帯を対象とした調査から作成されており、ケアホームなどの施設で暮らす高齢者は多くの場合、サンプルの特定や収集が難しいために調査から除外されている。しかし COVID-19 の感染がケアホームで急速に拡大したことなどを踏まえると、このグループに関するデータはかつてないほど重要性を増している。国連欧州経済委員会(UNECE)が発表した Recommendations for Measuring Older Populations in Institutions(施設高齢者の測定に向けた勧告)は、各国の統計局が年齢関連の統計作成で施設高齢者をいつどのように組み込むべきか、について案内するものである。

● 欧州:Ageing in sustainable and smart cities(持続可能でスマートな都市でのエイジング)(UNECE Policy Brief on Ageing No. 24)

- <http://www.unece.org/population/ageing/policybriefs.html>
- http://www.unece.org/fileadmin/DAM/pau/age/Policy_briefs/ECE_WG-1_35.pdf (全文)
- 国連の 2030 アジェンダ実施や SDGs 達成には、あと 10 年しか残されていない。そのためには今後 10 年間で行動を加速化させる必要があり、そこでは都市が重要な役割を担う。デジタル化が進む社会の中で ICT は、都市の運営やサービス効率化に役立ち、したがって、様々な人々へ QOL 向上の機会をもたらす持続可能な都市づくりに役立つ。都市生活の 3 つの領域(住宅、緑地、交通)に重点を置いたこの政策文書では、地域レベルで持続可能な開発計画を作成および実施する際、高齢者のニーズを考慮することの重要性に注目している。

● 【コロナ関連】欧州:Strengthening the Health Systems Response to COVID-19: Preventing and managing the COVID-19 pandemic across long-term care services in the WHO European Region (COVID-19 への医療システム対応強化:WHO 欧州地域の介護サービス全体での COVID-19 パンデミック予防および対応)(WHO Europe ガイダンス、5/21)

- <http://www.euro.who.int/en/health-topics/Life-stages/healthy-ageing/news/news/2020/5/new-who-europe-guidance-shows-more-can-be-done-to-protect-people-in-need-of-long-term-care-during-the-covid-19-pandemic>
 - <http://www.euro.who.int/en/health-topics/Health-systems/health-services-delivery/publications/2020/strengthening-the-health-systems-response-to-covid-19-technical-guidance-6-21-may-2020>
 - http://www.euro.who.int/_data/assets/pdf_file/0004/443605/Tech-guidance-6-COVID19-en.pdf?ua=1 (ガイダンス全文)
 - このガイダンスでは、介護現場における COVID-19 の予防や対応で、政策立案者や国・地域の保健当局などが打ち立てるべき 10 の政策目標を挙げている。介護システムの意思決定者と医療システムの運営者は、構造的に分かれていることが多い。しかし COVID-19 への対応では、公式のガイダンスやコミュニケーション、計画などで、いくつかの目標達成に向け協力すべきである。それにより、パンデミックの中で介護サービスを強化・確保できるだけでなく、医療システムへのプレッシャーも最小限に抑えることができる。この報告書では主に、介護サービス(在宅、デイサービス、施設)を利用する高齢者に焦点を当てている。
- **【コロナ関連】欧州: Recovery from the COVID-19 crisis: Do not repeat the errors of the 2008 Great Depression (COVID-19 危機からの復興: 2008 年大不況の失敗を繰り返さない) (AGE 報告書)**
 - <https://www.age-platform.eu/press-releases/crisis-set-us-apart-recovery-must-bring-us-together-new-age-report-says>
 - https://www.age-platform.eu/sites/default/files/Recovery_from_COVID-19_crisis-AGE_Working_Paper-Jun20.pdf (全文)
 - COVID-19 からの復興は、すべての人にとって健康的な生活環境や社会的保護が保証されるよう、連帯と持続可能性に根付いていなければならない。COVID-19 パンデミックやそれに伴う隔離の対応では、高齢者への影響が特に大きかった。国連事務総長によると、このような高齢者への格差は「構造的要因」によるものであり、この報告書ではその構造的要因への対応策を提案している。特に、質の高い医療および介護サービス、弱者への十分な社会的保護、高齢者を組み入れた包摂的雇用、および危機の経済的影響からの消費者保護策強化に言及している。
 - **英国: In Focus: Experiences of older age in England (焦点: イングランドにおける高齢者の経験) (Independent Age 報告書)**
 - <https://www.independentage.org/focus-experiences-of-older-age-england>
 - https://independent-age-assets.s3.eu-west-1.amazonaws.com/s3fs-public/2020-03/Report_vF_0.pdf?uvSO_QIHsZnM7SBuClZ7lqenyLm7PQ6o (全文)
 - 高齢者や人口高齢化の課題に関する社会での議論は、極端だったり高齢者に関する憶測に基づいているものが多いが、高齢期は素晴らしい期間になりうる。英国の高齢者団体 Independent Age では、高齢者のポジティブな経験が毎日のように聞かれる。しかしまた、多くの高齢者が大きな課題に直面していたり、不平等が存在するというエビデンスも示されている。このプロジェクトでは、日頃あまり耳にされない高齢者の生活の実際や高齢者にとつ

て重要な事項を調査した。質的調査から浮かびあがったテーマとして、「高齢者に関する憶測」、「限られた期待」、「社会的つながり」、「選択やコントロールの欠如」、「絡み合った複数の問題」、「レジリエンスと保護要因」が挙げられた。

- **【コロナ関連】英国: COVID-19 INSIGHT (CQC 報告書)**
 - https://www.cqc.org.uk/sites/default/files/20200501%20COVID%20IV%20update%20number%201%20ACCESSIBLE.pdf?utm_campaign=11558292_SCIELine%2022%20May&utm_medium=email&utm_source=SOCIAL%20CARE%20INSTITUTE%20FOR%20EXCELLENCE%20&utm_sfid=0030f00003DCtHFAA1&utm_role=&dm_j=405,6VQFO,WT4R67,RMNSM,1
 - CQC が作成したこの報告では、同機関、統計局およびイングランド公衆衛生サービスのデータを用いて、COVID-19 が成人向け社会的ケアに及ぼした様々な影響について、グラフや図なども入れながらまとめている。たとえば感染や死亡の状況、事業者や職員への影響、COVID-19 以外のケアへの影響などが含まれる。
- **【コロナ関連】英国: 自宅隔離中の高齢者に向けたウェルビーイング・ブックレット(支援やアドバイスつき)**
 - <https://www.manchester.ac.uk/coronavirus-response/coronavirus-home-learning/keeping-well-at-home-guide/>
 - <http://documents.manchester.ac.uk/display.aspx?DocID=49104> (ガイド全文)
 - COVID-19 に関する国の対応では、自宅隔離を求められた人々への最新情報や支援提供の多くがテクノロジーに依存している。COVID-19 の影響が最も大きなグループの一つである高齢者は多くの場合、インターネットにアクセスできなかったり利用方法がわからなかったりするため、対面からデジタルサービスへの移行に取り残されてしまう。その結果、デジタル以外での方法へのニーズが高まっている。マンチェスター大学のヘルシーエイジング研究グループは、グレーターマンチェスター・エイジングハブと協力し、デジタル面で排除されている自宅隔離中の高齢者向けに、印刷版の無料冊子「Keeping Well at Home(自宅で健やかに)」を作成した。冊子では、自宅での運動、精神的健康、社会的つながり、栄養、水分補給、支援機関の連絡先などについて、実用的な情報が掲載されている。特に運動では、イラスト付きで様々な例が紹介されている。
- **【コロナ関連】英国: 70 歳以上向け自宅隔離お役立ち情報パック**
 - <https://www.ageing-better.org.uk/sites/default/files/2020-05/Isolation-pack-Brighton-Hove.pdf> (ガイド全文)
 - Sussex Health and Care Partnership が作成したこの情報パックでは、COVID-19 によって自宅隔離を行っている 70 歳以上の人向けに、自宅環境チェック(転倒防止など)、ウェルビーイング、栄養などについて総合的な情報をまとめている。
- **【コロナ関連】英国: Coronavirus (COVID-19): hospital discharge service requirements (COVID-19 における病院退院サービス要件: 利用者向け平易版作成) (5/13)**
 - <https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-hospital-discharge-service-requirements>

- COVID-19を受けて、病院からの退院要件が変更され、2020年3月にはサービス提供者向けの資料が発表された。5月13日には利用者向けに分かりやすい資料として、退院全般、病院から自宅への移動、病院からケアホームへの移動に関するリーフレットが発表された。すべて上記 URL からダウンロード可能。
- **【コロナ関連】英国: Straddling the divide: Digital exclusion during COVID-19 and beyond(コロナ禍およびコロナ後のデジタル格差) (ILC-UK 報告書、5/29)**
 - <https://ilcuk.org.uk/straddling-the-divide-digital-exclusion-during-covid-19-and-beyond/>
 - <https://ilcuk.org.uk/wp-content/uploads/2020/05/Straddling-the-divide-Digital-exclusion.pdf> (報告書全文)
 - デジタルツールを利用していない人々は多くの場合、商品やサービスの購入および社会的なつながりなどで困難に直面し、その格差は COVID-19 によって更に拡大している。しかしこのパンデミックはまた、デジタル格差に対応するチャンスでもある。企業や自治体などではこの点で、商品やサービスの利便性や安全性向上など、様々な対応を行っていた。このパンデミックはまた、デジタルツール利用に関するバリアを取り除く機会にもなっているが、対応のコーディネート不足によって課題が残されている。改善案として、国や地方の政府が協働し、弱者がデジタルスキルを学べる支援の提供や、そのための全国的なボランティアサービスの立ち上げなどを行うよう提言している。
- **米国: Caregiving in the United States 2020(米国の介護: 2020)**
 - <https://www.aarp.org/ppi/info-2020/caregiving-in-the-united-states.html>
 - <https://www.aarp.org/content/dam/aarp/ppi/2020/05/full-report-caregiving-in-the-united-states.doi.10.26419-2Fppi.00103.001.pdf> (全文)
 - 1997年より National Alliance for Caregiving と AARP が行ってきたこの調査では、無償介護者の現状を浮き彫りにしている。現在では米国人の 21.3% が介護者であり、過去 12 か月間で成人または特別なニーズのある子供をケアしていた。これはつまり 5,300 万人に相当し、2015 年の 4,350 万人より増加している。この報告書では、18 歳以上の人へケアを提供する 4,800 万近くの介護者について紹介している。主な結果は以下の通り。
 - ◇ 19%: 健康または機能面でのニーズで成人へケアを提供している人。
 - ◇ 2人以上の人へケアを提供している人: 2015 年は 18% → 24% へ増加。
 - ◇ ケアのコーディネートに困難を抱えている人: 2015 年は 19% → 26% へ増加。
 - ◇ 認知症ケアに携わる人: 2015 年は 22% → 26% へ増加。
 - ◇ ケア提供によって自身の健康が悪化した人: 2015 年は 17% → 23% へ増加。
 - ◇ 61% の家族介護者は就労している。
- **【コロナ関連】米国: ペンシルバニア州でコロナ禍における高齢者実態調査結果が発表 (4/30)**
 - <https://www.timesleader.com/news/local-news/781930/survey-findings-released-of-older-adults-during-covid-19-pandemic>
 - <https://www.aging.pa.gov/organization/pa-council-on-aging/Documents/State%20of%20Older%20Adults%20During%20COVID/PCoA%20State%20of%20Older%20Adults%20During%20COVID-19%20Report.pdf> (報告書全文)

- ペンシルバニア州では、コロナ禍における高齢者の状況やニーズを理解するため、州の Council on Aging と Department of Aging が共同で高齢者の調査を行い、報告書にまとめた。この調査は 4 月第 1 週にオンラインで英語とスペイン語にて行われ、全州から 3,700 名を超える高齢者が回答した。調査内容は、自宅外の人とのコミュニケーション頻度、つながるために利用しているテクノロジー、コロナ禍における外出頻度や外出の理由などである。主な結果は以下の通り。
 - ◇ 高齢者は平均して、食料などの買い物で週に 2 回近く外出している。
 - ◇ 大半の薬局では、買い物や処方薬の提供で配達やドライブスルーのサービスを行っているが、高齢者の多くは実際に薬局を訪れている。
 - ◇ 85 歳以上の人は、地域とつながる資源として 3 番目にシニアセンターを挙げていた。1 番目と 2 番目は、家族と宗教施設である。
 - ◇ 最高齢グループ(91 歳以上)では、スマートフォンを利用している人は 20%に満たないが、20%を超える人がバーチャルでのつながりに関心を示した。

- **オーストラリア:Who cares? Seniors do(誰がケアする? 答えは「シニア」) (National Seniors 報告書)**
 - <https://nationalseniors.com.au/news/media-release/unpaid-carers-and-covid-19-challenges>
 - <https://nationalseniors.com.au/uploads/NSA-ResearchReport-Whocares.pdf> (全文)
 - COVID-19 危機の中で無償ケアラーは、あまり注目されてはいないが大きな役割を担ってきた縁の下での力持ちである。オーストラリアの全国高齢者団体 National Seniors では、このような無償ケアラーについて調査を行い、報告書を発表した。主な調査結果は以下の通り。
 - ◇ 50 歳以上の調査参加者 4,139 名のうち、22%がパートナーや親、成人した子どものケアを行っていた。
 - ◇ ケアラーは平均して週に 26 時間ケアを提供しており、中には毎日フルタイムでケアを行っている人もいた。
 - ◇ 半数以上は中度～重度のケアを提供していた。
 - ◇ 大半の人はケアプランが無く、政府の支援も利用していなかった。
 - ◇ ケアラーでない人と比べると、ケアラーは多くの健康問題を抱えていた。
 - ◇ この重要な役割を続けていくためには、実用的・精神的・情報面での更なる支援が必要とされる。

- **オーストラリア:Australian Grandparents Care(オーストラリアにおける孫のケア) (National Seniors Australia 報告書)**
 - <https://nationalseniors.com.au/news/latest/new-research-shows-the-value-of-grandparenting>
 - <https://nationalseniors.com.au/uploads/NSA-ResearchReport-Grandparenting-final.pdf> (全文)
 - National Seniors Australia が発表した新たな報告書では、高齢者が孫に提供するケアの様々な実態が明らかとなった。COVID-19 によってソーシャルディスタンスが求められ、高齢者が孫のケアをできなくなったことで、この分野における高齢者の貢献の大きさも浮き彫りとなっている。主な結果は以下の通り。

- ◇ 回答者 4176 名のうち 1/4 以上が、孫などのケアを定期的に行っていた。
- ◇ 孫のケア提供時間は平均して週 12 時間であり、女性の方が男性より長かった。
- ◇ 孫のケアを行っていたのは主に、60－79 歳の年齢層だった。
- ◇ 孫のケアを行っていた人の 1/4 は、12 歳以上の他の人にもケアを提供していた。

● **【コロナ関連】オーストラリア:COVID-19 禍でのケアラーの困難が調査で浮き彫りに**

- <https://www.carersaustralia.com.au/media-centre/article/?id=survey-of-family-and-friend-carers-reveals-them-doing-it-very-tough-during-covid-19-pandemic>
- <http://www.caringfairly.org.au/sites/default/files/2020-05/Caring%20Fairly%20COVID19%20survey%20results%20%281%29.pdf> (調査結果要旨)
- COVID-19 パンデミックにおける無償ケアラーの経験を把握するために、Caring Fairly Coalition では、全国 471 名のケアラーを対象とした調査を 4－5 月に行った。調査結果では、COVID-19 によるケアラーへの様々な影響が浮き彫りとなった。主な結果は以下の通り。
 - ◇ 42%: COVID-19 以降、定期的な収入の一部／すべてを失った。
 - ◇ 40%: 要介護者のケアをこれまでより多く行わなければならないため、勤務時間を減らさなければならなかった。
 - ◇ 12%: COVID-19 以降、職を失った。
 - ◇ 86%: 生活費が増えた(日用品の買い物、薬など)。
 - ◇ 60%: 要介護者への支援の一部／すべてが利用できなくなった。また半数近くは、ケアラー自身への支援が得られなくなった。
 - ◇ 81%: COVID-19 以降、精神的健康が悪化した。また 88% は、ケアラーとしての役割のストレスが増加した。



SDGs 関連情報

● **【コロナ関連】国連:新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を含む世界の課題に関する全世界アンケート調査を実施中(日本語で回答可能)**

- <https://un75.online/?lang=jpn>
- 史上最悪のグローバルな健康危機を含め、大きな試練に直面しながら創設 75 周年を迎える国連は、COVID-19 を含む世界の課題に関して、全世界の人々にアンケート調査を始めた。これは 1 分で完了できる簡単なアンケート調査で、上記 URL から日本語で回答可能。主な質問は、パンデミックからの復興に向けて優先すべき事項、影響が大きいと思われるグローバルトレンド、国同士の協力などである。